



園だより 7月号

令和7年6月25日

中野区立ひがしなかの幼稚園

園長 宮本 実利

<https://fa.fureai-cloud.jp/nk-higasinakano-k/>



『自由に広がるイメージの世界で』

園長 宮本 実利

今年は早くも夏の暑さが6月に訪れ、プールからも元気な声が響いています。5月に植えた夏野菜もぐんぐん大きくなって、子どもたちはその生長ぶりに興味津々です。

幼稚園では、子どもたちの様々な体験の一つ一つが心に響き、「やってみたい」「こうしてみよう」につながるようにと願っています。先日、5歳児ほし組は、プラネタリウムに出かけました。わくわくしながら宇宙船に乗って「5, 4, 3, 2, 1 発車!」と出発すると、夜空に瞬く無数の星が…。いつも見る夜空とは異なる星の世界の美しさに息を吞んでいました。宇宙旅行の中で、無数の星の中から星と星をつないで星座ができること、火星や土星などに着陸し、地球とは異なるいろいろな惑星があることを知りました。最後に流れ星も見付け、地上から星を楽しめることを体験し、楽しい宇宙旅行は終わりました。宇宙旅行を終えた子どもたちは大満足です。「楽しかった」「また行きたい」と宇宙船を降りてきました。

プラネタリウムは疑似体験ですが、図鑑や絵本などでしか見たことがなかった宇宙という世界にみんなで出掛け心が躍動する中で、星や惑星の美しさに魅了された子どもたちは、「やってみたい」「もっと知りたい」という知的好奇心が高まりました。幼稚園では、プラネタリウムで体験したことをさらに楽しめるように宇宙の惑星の写真を壁面に飾り、共通体験をじっくり味わえるようにしています。また、心が動かされたことを再現したり表現したりできるように環境を整えると、思い思いの星空を描いたり、小さな穴をあけた紙に光を当てて自分で考えた星座を映し出したり、宇宙船ごっこを友達と楽しんだりしています。

このように、子どもたちは宇宙旅行というイメージの世界に心が動き、さらに自由にイメージを広げて考えや試行錯誤しながら表現することを楽しみました。さらに、共通体験したことにより友達との遊びにつながり、自分たちでつくり出し表現する達成感や充実感を味わっています。子どもたちの自由な発想で創造するイメージの遊びは、幼児期ならではの遊びです。その中で、学びはどんどん広がっていきます。教師と一緒に楽しみながら伴走し、その過程を支えています。自由に広がるイメージの世界で子どもたちが経験していることを捉え、深い学びにつなげていきます。

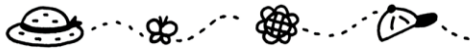
幼児期の遊びを通した学びについて、先日、保幼小連絡協議会の保育公開にいらした小学校の先生方とお話しする機会を得ました。保育環境やそこで繰り広げられる遊びの様子をお伝えすると、就学前の子どもたちの経験や学びについてのご意見や小学校での姿や学びとのつながり等、お話をいただきました。

また、第1回学校運営協議会では、遊びや生活の中で子どもたちが「こうしてみよう」と探究している様子を委員の皆様にお伝えする機会をいただきました。これからも、多くの保護者、地域、小・中学校の方々に幼稚園の教育と子どもたちの学びや成長の姿をお伝えし、ご意見やお力をいただきながら、子どもたちの成長のために充実した教育を目指してまいります。

保幼小中連携教育



先日、谷戸小学校で開催された「保育園と幼稚園と小学校との連絡協議会」に全職員で参加しました。中野区内の保育園、幼稚園、小学校の教職員が4つのブロックに分かれ、具体的な幼児・児童の姿をもとにテーマに基づいて話し合いをする中で、相互理解を深め、連携を図っていくものです。今年のテーマは「子どもの声を聴きながら15年間の学びの連続性を意識した教育・保育の展開～主体的な遊びから学びへ～」でした。幼稚園で大切にしている主体的な学びについて、普段の遊びや行事、異年齢との関わりなど、いろいろな側面からお伝えしてきました。また、他園・他校のお話も伺いながら、どの園・学校でも子どもたちの「こうしたい」「やってみたい」という思いを大事に教育・保育をしていることがよく分かりました。さらに、小一ギャップや保育園・幼稚園と小学校の接続など現状の課題も話題となり、今後も連携を密にとっていくことの重要性を感じました。



<3歳児> ○おもしろそうと感じたことを繰り返したり、気に入ったことをじっくり楽しんだりするようになる。

○教師と一緒に水遊びに必要な準備をしようしたり、水の感触を楽しんだりする。

砂場で穴を掘り、そこに水を溜めて裸足になって入ったり、学級で親しんだリズムのカセットを自分でかけて踊ったり、自分で作ったステッキやお面を身に付けて、なりきって遊んだりするなど、自分の気に入った遊びをして過ごしています。一人ひとりの気に入ったことやおもしろそうと感じたことに共感し、十分に楽しめるようにしていきます。

また、水遊びが始まり、衣服の着脱の機会が増えます。教師と一緒に行う中で、自分でやろうとする姿を十分に認めていきたいと思います。そして、いろいろな遊びの中でたくさん水に触れることで、水の感触や気持ちよさを感じられるようにしていきます。



<4歳児> ○やりたい遊びを見つけて繰り返したり、新しい遊びに興味をもって関わったりして遊ぶことを楽しむ。

○いろいろな水遊びを楽しむ中で、水に触れたり水の中で体を動かしたりする心地よさや解放感を味わう。

幼虫やチョウのペープサートを作って持って動かしたり、中型積み木で乗り物や家を作ったりするなど、自分からおもしろそうなことをやってみる姿が見られます。その中で、同じ場にいる友達と関わったり、気の合う友達と過ごしたりすることを楽しんでいます。さらに、色水や七夕の飾り作りなど新しい遊びをやってみたり、気に入った遊びを繰り返したりして、やりたい遊びを十分に楽しめるようにしていきます。

園庭では、ジョウロで水やりをしながら、野菜の苗の生長を楽しみにしています。自分たちで大切に育てようという気持ちをもったり、収穫して会食することを楽しみにしたりできるようにしていきます。

水遊びが始まり、遊具を使って楽しみながら水に親しんでいます。様々な活動を通して、プールの中でのびのびと動き、水に触れる心地よさや解放感を味わえるようにしていきます。また、着替えやプールの後の始末など、必要なことを自分でやろうとする姿を認め、「自分でできた」という自信にもつながるようにしていきます。



<5歳児> ○試したり工夫したりする面白さを感じながら、遊びを進めていこうとする。

○水の心地よさや楽しさを感じながら、自分なりにめあてをもって取り組む。

画用紙に穴を開けて星座を作ってプラネタリウムごっこをしたり、身近な素材でロケットを作って動かしたりするなど、共通に体験したことを生かして、友達とイメージを共有して遊びを楽しむ姿が見られます。様々な用具や材料を使ったり、友達の刺激を受けたりしながら、自分なりに試行錯誤したり、工夫したり、新しいことに挑戦したりすることを楽しめるように援助していきます。

また、七夕に向けての制作活動でも、笹飾りの意味や新しい技法に関心をもって取り組み、できた喜びや笹飾りの美しさを感じられるようにしていきます。

水遊びでは、水の感触や水の中でのびのび動く解放感を楽しみながら、友達の刺激を受けて、顔を全部水に付けてみる、体を伸ばして浮くなど、自分なりのめあてに向けて挑戦できるようにしていきます。